

# 卒業生ファイル No.002

## 氏名

池田 栞

工学資源学部地球資源学科 2014 年卒業

工学資源学研究科地球資源学専攻博士前期課程 2016 年修了

## 勤務先

日本地下水開発株式会社



## 仕事の内容

地下水熱や地中熱など地下の自然エネルギーを利用した消融雪施設の設計に携わっています。地下水熱や地中熱は基本的にどこにでも賦存している熱エネルギーであり、熱エネルギーを電気に変換せず直接利用することで効率よく雪を融かすことができます。設計では消融雪施設の図面を引くだけでなく、土地の気象データや地下水量に基づいて消雪を行うための根拠資料を作成したり、顧客の要望をくみ取りコストを考え資材を選定し、数量をまとめたりしています。全て同じ設計になることはなく、様々な分野の知識を取り入れながら消融雪施設の設計を最後まで担当できることにやりがいを感じています。

## 秋田大学で学んでよかったこと

秋田大学では地下資源について学び地中熱利用に関する研究を行っていました。地中熱利用に関連した仕事に就職できたので、現在の業務をするうえで、授業で学んだ基礎的知識や研究で得た専門的知識を積極的に活用できています。また、大学には国際化に力を入れているため留学生も多くいます。私は英語や海外に対して苦手意識をもっていました。留学生とコミュニケーションをとると語学がすべてではないということを実感しました。それからは沢山の人のコミュニケーションをとることで、情報を発信することにも積極的になり、教授の支援もあって海外で研究発表をすることができました。「百聞は一見に如かず」で、新しい自分を発見できるチャンスはたくさんあります。留学生だけでなく大学で多くの人と交友関係を築き、見聞を広められたことは今の自分の大きな財産になっています。

## 仕事の中で印象に残っているエピソード

3,000 m<sup>2</sup>の駐車場に無散水消雪システムを導入する設計を担当したことです。これまでと違い消雪の規模が大きく井戸も3本掘削するため、井戸1本の消雪範囲と必要水量や井戸位置から地下水を通水する配管の経路など1つ1つ確認し、上司や先輩に指示を仰ぎながら図面や計算書を作成しました。消融雪施設の設計には変更が付きものです。道路であれば路線計画の変更や構内では新設または既設構造物の変更など、顧客からの要望に応じた消雪計画の見直しを行わなければなりません。何度も修正を重ねて上司からチェックを受けて、成果品を提出したときには大きな達成感を得ることができました。

工事はまだ完了していませんが、実際に施設が稼働し雪が消えている状況を早く見たいと思います。

## オフタイムにしていること

美味しいものを食べたり作ったりすることが趣味なので、時間があるときは料理をしています。大したものを作れませんが、レシピにある食材の組み合わせを変えたり、新しい調味料を使って味付けを変えたり、その時の気分や体調に合わせてアレンジを加えることで味のレパートリーを増やしています。また、近くには飲食店やカフェ、お菓子屋さんなど美味しいお店が多くあるため、会社の同僚や上司、友人から情報をもらって休日に食べ歩いたりしています。